

令和8年度企画展 |  
昭和100年記念企画

昭和  
100年  
1926—2026

# みんなの昭和 わが家の100年

7/4(土)~  
8/23(日)

休館日 月曜日、祝日の翌日  
(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)  
開館時間 9:00~17:00  
(入館は16:30まで)

入場無料!



あの頃の自分に  
逢いに行こう!

関連イベント

市民学芸員と  
「昭和」で  
あそぼう!

8/2(日)

10:00~12:00

13:00~15:00



## 袖ヶ浦市郷土博物館

〒299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田1133 (袖ヶ浦公園内)

TEL0438-63-0811 FAX0438-63-3693 E-Mail:sode65@city.sodegaura.chiba.jp



# すべての家に歴史がある。すべての人生は歴史につながる。

昭和時代は、戦前戦中から戦後の復興・高度経済成長期を経てバブル経済の始まり頃まで続いた64年にもわたる長い時代です。

一口に昭和生まれと言っても、今年100歳を迎える方から30代後半まで幅広く、昭和の思い出の形も人それぞれでしょう。

今回の企画展は、博物館のボランティアである市民学芸員と協働で、昭和の思い出の品や思い出入れを展示しました。たくさんの昭和の思い出の中には、みなさんの思い出と重なるものが、何か一つはあると思います。

遠いけれど懐かしい、あの日の自分を探しに出かけましょう。



## I 戦時下の青春とくらし (ロビー展示)

戦時中に青春時代を過ごし、軍務で赴任した先で出会った人と結婚して幸せな家庭を築きながら、戦地に散った一人の青年の人生をたどります。

## II 戦後復興から高度経済成長期へイケイケの30年代

戦後の混乱を乗り越えて、高度経済成長期に突入していった30年代。昭和後半の文化、流行の始まりです。

- ・焼け野原から立ち上がり
- ・ハイカラ家電にオシャレ雑貨
- ・あこがれのあれこれ



## III いざなぎ景気がやってきた！ノリノリの40年代

高度経済成長期がピークに達し、大阪万博などで盛り上がった40年代。テレビやマイカーなどが普及し、昭和47年には沖縄県が日本へ返還されました。

- ・いくつわかるかな？あの頃の〇〇
- ・昭和ファッション・ショー
- ・家族でお出かけ



## IV オイルショックからバブルへGO！キラキラの50～60年代

オイルショックを乗り越えて、バブルへとつながる好景気の中で現在でもおなじみのいろいろな文化や商品が生まれていました。

- ・あの頃夢中だったアレ
- ・昭和最後の大騒ぎ



## V 昭和のおうちようこそ！

昭和のお茶の間や応接間を再現しました。昭和時代にタイムスリップ！



## 関連イベント

### 展示解説会

7月4日(土)、8月2日(日) 11:00～

### 市民学芸員と「昭和」で遊ぼう！

8月2日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00

会場：博物館研修室、ロビー他

市民学芸員と一緒に、竹馬・コマ回しなど、昭和の子ども遊びを体験しよう！

★参加費無料 申し込み不要

